

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年 9 月15日
【会社名】	株式会社出前館
【英訳名】	DEMAE-CAN CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 英雄
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 丁目27番 5 号
【電話番号】	050-5445-5382
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 小林 元樹
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 丁目27番 5 号
【電話番号】	050-5445-5382
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 小林 元樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1 【提出理由】

2021年9月13日開催の当社取締役会において、欧州及びアジアを中心とする海外市場(但し、米国及びカナダを除く。)における新株式発行及び自己株式の処分による当社普通株式の募集(以下「本海外募集」という。)を決議し、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号の規定に基づき、同日付で臨時報告書を提出しておりますが、2021年9月15日に本海外募集の条件その他本海外募集に関し必要な事項が決定されましたので、これらに関する事項を訂正するため、同法第24条の5第5項及び同項により準用される同法第7条第1項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正内容】

訂正箇所は_____ 頁で示してあります。

(3) 発行価格及び処分価格

(募集価格)

(訂正前)

未定

(日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、2021年9月15日(水)から2021年9月17日(金)までの間のいずれかの日(以下「発行価格等決定日」という。)の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値(当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値)に0.90～1.00を乗じた価格(1円未満端数切捨て)を仮条件として、需要状況等を勘案した上で発行価格等決定日に決定する。)

(訂正後)

1,736円(なお、発行価額との差額は、引受人の手取金となる。)

(4) 発行価額

(会社法上の払込金額)

(訂正前)

未定

(日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、発行価格等決定日に決定する。)

(訂正後)

1,666.56円

(5) 資本組入額

(訂正前)

未定

(資本組入額は、1株あたりの増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額(計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げる。)を上記(2)の発行数で除した金額とする。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(訂正後)

833.28円

(自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(6) 発行価額の総額

(訂正前)

未定

(訂正後)

32,154,441,984円

(7) 資本組入額の総額

(訂正前)

未定

(資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から上記の増加する資本金の額を減じた額とする。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(訂正後)

13,377,393,792円

(資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、増加する資本準備金の額は13,377,393,792円である。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(12) 提出会社が取得する手取金の総額並びに使用ごとの内容、金額及び支出予定時期

(訂正前)

手取金の総額

払込金額の総額(注)

30,672,670,464円(見込)

発行諸費用の概算額

160,000,000円(見込)

差引手取概算額(注)

30,512,670,464円(見込)

なお、払込金額の総額は、発行価額の総額と同額であり、2021年9月10日(金)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額です。

使用ごとの内容、金額及び支出予定時期

本海外募集による上記差引手取概算額及び並行第三者割当による差引手取概算額の合計約800億円については、2024年2月末までに650億円を運転資金(マーケティング費用)に、2024年2月末までに100億円を設備資金(システム強化/開発資金)に、2024年2月末までに50億円を運転資金(配達員増強資金)に充当する予定であります。

(注) 1. 本海外募集及び並行第三者割当に係る手取概算額の合計は、2021年9月10日(金)現在の東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額です。

2. 当社は、本海外募集及び並行第三者割当の払込みにより調達した資金を上記の資金使途に充当するまでの間、銀行預金にて安定的な資金管理を図る予定であります。

3. 調達した資金を充当する優先順位は、現時点では定めておらず、支出時期が早い事項から順次充当する予定です。

具体的な使途及び支出予定時期は以下のとおりです。

(1)運転資金（マーケティング費用）

国内のフードデリバリーサービスに対する需要が急激に高まり、市場全体が成長していく中で、フードデリバリー大手競合他社との競争が激化しております。かかる競争環境を踏まえ、当社が将来に亘り順調な成長を遂げていくためには、更なる積極的なマーケティング活動を行い、より一層のユーザー、加盟店及び配達員の獲得を前倒して進めることで、中期経営計画における業績目標の中でも出前館流通金額の成長の加速に注力することが必要になるとの判断に至りました。そこで、当社は、より多くのユーザーにサービスをご利用いただくとともに、加盟店及び配達員の獲得にもつながるよう、テレビコマーシャル等のブランド広告や利用促進に向けたクーポン施策をより積極的かつ機動的に講じていく予定であります。2021年8月期において年間約150億円であったマーケティング支出を倍増させる規模でマーケティングを展開し、既存のユーザーの方にはもちろん、まだ当社サービスをご利用いただいてない方向けにも利用を促進するための費用として、2024年2月末までに650億円を充当する予定です。

なお、マーケティング費用については、経営に与える影響が極めて大きいことを踏まえ、初期投資効果の実現度などを確認の上で段階的に投資を実現していく予定です。

< 後略 >

(訂正後)

手取金の総額	
払込金額の総額	32,154,441,984円
発行諸費用の概算額	160,000,000円
差引手取概算額	31,994,441,984円

使途ごとの内容、金額及び支出予定時期

本海外募集による上記差引手取概算額及び並行第三者割当による差引手取概算額の合計約830億円については、2024年2月末までに約680億円を運転資金（マーケティング費用）に、2024年2月末までに100億円を設備資金（システム強化/開発資金）に、2024年2月末までに50億円を運転資金（配達員増強資金）に充当する予定であります。

（注）1. の全文削除

（注）1. 当社は、本海外募集及び並行第三者割当の払込みにより調達した資金を上記の資金使途に充当するまでの間、銀行預金にて安定的な資金管理を図る予定であります。

2. 調達した資金を充当する優先順位は、現時点では定めておらず、支出時期が早い事項から順次充当する予定です。

具体的な使途及び支出予定時期は以下のとおりです。

(1)運転資金（マーケティング費用）

国内のフードデリバリーサービスに対する需要が急激に高まり、市場全体が成長していく中で、フードデリバリー大手競合他社との競争が激化しております。かかる競争環境を踏まえ、当社が将来に亘り順調な成長を遂げていくためには、更なる積極的なマーケティング活動を行い、より一層のユーザー、加盟店及び配達員の獲得を前倒しで進めることで、中期経営計画における業績目標の中でも出前館流通金額の成長の加速に注力することが必要になるとの判断に至りました。そこで、当社は、より多くのユーザーにサービスをご利用いただくとともに、加盟店及び配達員の獲得にもつながるよう、テレビコマーシャル等のブランド広告や利用促進に向けたクーポン施策をより積極的かつ機動的に講じていく予定であります。2021年8月期において年間約150億円であったマーケティング支出を倍増させる規模でマーケティングを展開し、既存のユーザーの方にはもちろん、まだ当社サービスをご利用いただいてない方向けにも利用を促進するための費用として、2024年2月末までに約680億円を充当する予定です。

なお、マーケティング費用については、経営に与える影響が極めて大きいことを踏まえ、初期投資効果の実現度などを確認の上で段階的に投資を実現していく予定です。

<後略>

以 上